



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月2日

上場会社名 株式会社サンリツ 上場取引所 東
コード番号 9366 URL <https://www.srt.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三浦 康英
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 尾留川 一仁 TEL 03-3471-0011
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	4,662	△4.6	142	△46.0	218	△31.4	151	△18.2
2023年3月期第1四半期	4,888	15.2	264	△16.1	317	△9.0	185	△24.8

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 115百万円 (△59.9%) 2023年3月期第1四半期 288百万円 (△7.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	27.49	26.79
2023年3月期第1四半期	32.82	31.96

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	21,195	10,095	46.9	1,805.62
2023年3月期	21,171	10,255	47.7	1,834.96

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 9,943百万円 2023年3月期 10,105百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	50.00	50.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	0.00	-	29.00	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,000	0.3	440	△22.4	420	△45.9	280	△48.4	49.97
通期	20,500	0.8	900	△11.7	850	△29.4	560	△42.9	99.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	6,006,373株	2023年3月期	6,006,373株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	499,117株	2023年3月期	499,117株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	5,507,256株	2023年3月期1Q	5,637,856株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、新型コロナウイルス感染症の法的位置付けが5類へ移行するなど、国内の消費活動は回復基調となりました。一方、長期化するウクライナ情勢の影響によるエネルギー価格及び原材料価格の高止まり、円安進行や海外経済の減速懸念など、先行き不透明な状況が継続しております。

物流業界におきましては、国際貨物は、中国のゼロコロナ政策、ロックダウン解除により、世界経済は緩やかな回復基調を維持するものの、世界的な金融引き締めによる海外経済の下振れの懸念などが下押し要因となり、輸出入量ともに概ね横ばいに推移いたしました。国内貨物は、経済活動の正常化の動きの中で、物価上昇が消費マインドの下押し要因となり、消費関連貨物、生産関連貨物が伸び悩んだことで、輸送量は軟調に推移いたしました。

このような事業環境の中、当グループは、中・長期的ビジョン「オペレーションからソリューションへ」のもと、顧客の真のニーズを引き出し、生産効率向上に寄与するソリューションの実現に向けて、グループ一丸となって取り組んでまいりました。

この結果、売上高につきましては、輸出量は減少傾向にあるものの、部品等の保管が増えたため、半導体製造装置の取扱いは増加しましたが、前期好調に推移していた工作機械の取扱いが大幅に減少したことにより、減少いたしました。営業利益につきましては、材料費等の値上がり分について、顧客への価格転嫁交渉を引き続き行いつつ、使用資材の見直しによるコスト削減等に努めたものの、十分に補うことができなかったことに加え、事業基盤強化のため、人材の確保を積極的に行ったこと及び新基幹システムの減価償却が始まったことにより、販売費及び一般管理費が増加したため、減少いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高46億62百万円（前年同期比4.6%減）、営業利益1億42百万円（前年同期比46.0%減）、経常利益2億18百万円（前年同期比31.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億51百万円（前年同期比18.2%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①梱包事業部門

顧客の増産により小型精密機器の取扱いは増加したものの、前期好調に推移していた工作機械の取扱いが大幅に減少したため、売上高は減少いたしました。

セグメント利益につきましては、海上運賃の下落に伴い外注費は削減されたものの、事業基盤強化のため、人材の確保を積極的に行ったことにより、販売費及び一般管理費が増加したことで、減少いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高33億76百万円（前年同期比7.1%減）、セグメント利益2億90百万円（前年同期比21.2%減）となりました。

②運輸事業部門

工作機械及び医療機器の取扱いが減少したことに加え、外注費の値上がり分について、顧客への価格転嫁の交渉を行ったものの、十分に補うことができなかったことで、売上高、セグメント利益ともに減少いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高5億45百万円（前年同期比8.4%減）、セグメント利益27百万円（前年同期比45.9%減）となりました。

③倉庫事業部門

輸送量は減少傾向にあるものの、部品等の保管が増えたため、半導体製造装置の取扱いは増加したことで、売上高、セグメント利益ともに増加いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高6億79百万円（前年同期比15.5%増）、セグメント利益1億47百万円（前年同期比9.3%増）となりました。

④賃貸ビル事業部門

一部テナントの解約があったことにより、売上高は減少いたしました。

セグメント利益につきましては、保険料の値上り等で、減少いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高61百万円（前年同期比11.3%減）、セグメント利益10百万円（前年同期比49.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産211億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ24百万円の増加となりました。主な内容は、以下のとおりであります。

流動資産につきましては、67億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億28百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の増加1億49百万円、売掛金の減少3億36百万円、原材料及び貯蔵品の増加85百万円によるものであります。

固定資産につきましては、144億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億52百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産において、建物及び構築物の減少82百万円、リース資産の減少61百万円、建設仮勘定の増加1億98百万円、無形固定資産において、ソフトウェアの減少15百万円、投資その他の資産において、投資有価証券の増加43百万円、繰延税金資産の増加35百万円によるものであります。

②負債

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、111億円となり、前連結会計年度末に比べ1億84百万円増加いたしました。

流動負債につきましては、62億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ92百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金の増加27百万円、未払法人税等の減少1億23百万円、賞与引当金の減少3億35百万円及びその他の増加5億5百万円によるものであります。

固定負債につきましては、48億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ91百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金の増加1億18百万円、リース債務の減少56百万円及びデリバティブ債務の増加29百万円によるものであります。

③純資産

純資産につきましては、100億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億59百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金の減少1億23百万円、為替換算調整勘定の減少74百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の47.7%から46.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日公表の業績予想から変更はありません。また、今後何らかの要因により業績予想を見直す必要性が生じた場合は、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,725,777	2,875,504
受取手形	207,838	183,353
売掛金	3,274,987	2,938,504
原材料及び貯蔵品	395,317	480,837
その他	283,941	280,955
貸倒引当金	△5,100	△4,400
流動資産合計	6,882,762	6,754,754
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,056,914	6,974,610
機械装置及び運搬具(純額)	327,070	318,233
土地	2,864,088	2,867,996
リース資産(純額)	784,809	723,709
建設仮勘定	943,418	1,141,753
その他(純額)	40,272	37,942
有形固定資産合計	12,016,573	12,064,246
無形固定資産		
ソフトウェア	287,768	272,232
その他	783	746
無形固定資産合計	288,551	272,978
投資その他の資産		
投資有価証券	424,364	468,163
繰延税金資産	809,381	844,420
その他	755,711	796,938
貸倒引当金	△6,192	△6,112
投資その他の資産合計	1,983,265	2,103,409
固定資産合計	14,288,391	14,440,634
資産合計	21,171,153	21,195,389

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	820,660	846,870
短期借入金	3,314,213	3,341,639
リース債務	245,746	238,903
未払法人税等	271,385	147,798
賞与引当金	520,469	184,551
その他	1,032,956	1,538,194
流動負債合計	6,205,431	6,297,958
固定負債		
長期借入金	2,639,087	2,757,678
リース債務	468,258	411,711
退職給付に係る負債	879,108	876,657
資産除去債務	477,285	479,809
デリバティブ債務	37,966	67,357
その他	208,936	208,936
固定負債合計	4,710,643	4,802,150
負債合計	10,916,074	11,100,108
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,523,866	2,523,866
資本剰余金	2,460,009	2,460,009
利益剰余金	5,068,188	4,944,213
自己株式	△283,840	△283,840
株主資本合計	9,768,224	9,644,249
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	186,501	220,767
繰延ヘッジ損益	△1,658	△851
為替換算調整勘定	179,776	105,377
退職給付に係る調整累計額	△27,244	△25,545
その他の包括利益累計額合計	337,374	299,748
新株予約権	49,697	49,697
非支配株主持分	99,782	101,586
純資産合計	10,255,079	10,095,280
負債純資産合計	21,171,153	21,195,389

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	4,888,561	4,662,404
売上原価	3,886,996	3,689,533
売上総利益	1,001,564	972,870
販売費及び一般管理費		
販売費	314,964	356,602
一般管理費	421,846	473,330
販売費及び一般管理費合計	736,811	829,933
営業利益	264,753	142,937
営業外収益		
受取利息	579	5,530
受取配当金	6,844	6,966
受取保険金	3,872	—
為替差益	81,954	105,187
その他	10,600	5,441
営業外収益合計	103,851	123,126
営業外費用		
支払利息	18,365	17,889
デリバティブ評価損	31,568	29,391
支払手数料	762	747
営業外費用合計	50,696	48,028
経常利益	317,908	218,036
特別利益		
投資有価証券売却益	7,574	—
特別利益合計	7,574	—
特別損失		
災害による損失	24,220	—
特別損失合計	24,220	—
税金等調整前四半期純利益	301,263	218,036
法人税、住民税及び事業税	163,343	108,684
法人税等調整額	△54,223	△43,838
法人税等合計	109,119	64,845
四半期純利益	192,143	153,190
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,123	1,803
親会社株主に帰属する四半期純利益	185,019	151,387

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	192,143	153,190
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,155	34,265
繰延ヘッジ損益	2,287	807
為替換算調整勘定	95,534	△74,399
退職給付に係る調整額	1,611	1,699
その他の包括利益合計	96,277	△37,626
四半期包括利益	288,420	115,564
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	282,834	113,760
非支配株主に係る四半期包括利益	5,585	1,803

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	梱包事業	運輸事業	倉庫事業	賃貸ビル事業	計	
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,635,694	595,245	588,054	69,566	4,888,561	4,888,561
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,939	—	—	2,939	2,939
計	3,635,694	598,184	588,054	69,566	4,891,500	4,891,500
セグメント利益	368,784	50,159	134,933	20,209	574,088	574,088

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	574,088
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△309,334
四半期連結損益計算書の営業利益	264,753

(注) 全社費用は、主に当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	梱包事業	運輸事業	倉庫事業	賃貸ビル事業	計	
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,376,007	545,398	679,268	61,729	4,662,404	4,662,404
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,249	—	—	1,249	1,249
計	3,376,007	546,648	679,268	61,729	4,663,654	4,663,654
セグメント利益	290,694	27,126	147,543	10,297	475,662	475,662

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	475,662
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△332,724
四半期連結損益計算書の営業利益	142,937

(注) 全社費用は、主に当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。